

太鼓叩きのクマさん ポコポコベアーの修理

2024. 02. 22 ゆきや



紐を引いて歩くと、クマが太鼓を叩きます。後輪の車軸に付いたカムが、下から交互にクマの腕を突き上げ、落ちるときに太鼓を叩くのです。

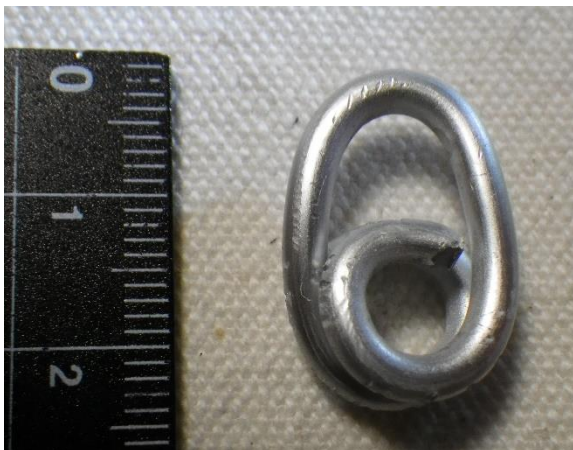
原理は、手押し車のカタカタと同じです。

入院して来た時は、後輪の車軸が折れ、後輪は1個しか残っていませんでした。また、2個ある筈のカムも1個しかありませんでした。



後輪の直径は38mmですが、同じサイズの材料はなく、両輪とも手元にあった40mmの丸材を切って作る事にしました。

片方だけだと、大きさが揃わないためです。



車軸とカムは、木材でハンドメイドは難しく思われました。小さなパーツを、丈夫な固い木材で作るのは手に余ります。また、材料の入手も容易ではありません。

結局、カムは4mmのアルミ線を曲げて写真のように作りました。アルミ線は柔らかですが、この程度の大きさならば、シッカリ役目を果たしてくれます。

また、車軸は手許にあった直径6mmの金属棒を使いました。全体にネジが切られていますから、カムの両側をナットで締めて固定します。



車輪とカム2個を取り付け、
復元完了です。

なお、この車軸が回ると、ネジ
が周辺の木の部分进行削るおそ
れがあるため、熱収縮チューブ
をかぶせました。(白丸部分)

こうして、何とか復元したのが、
冒頭の写真です。
楽しくポコポコと太鼓を叩い
てくれました。